

他の都県からも避難者が松戸に来る可能性も。市は万全の備えを

自区内のみの避難計画では不安

防災やゴミなどにおいて、日本はこれまで「自区内処理」という考え方を中心に組み立ててきました。自分たちの暮らしに必要なことは、自分たちで準備する。そのように、各自治体が取り組むことはとても大切です。

しかし、水害については、人々の命を確実に守るためには、広域的な考え方をしなければならないと思っています。そして、広域的な対策を取るということは、自分たちが暮らす市区町村を超えてでも、確実に避難できる場所と方法を確保しておく事が求められていくのです。

その場合、江戸川に面していながらも、比較的高台にある松戸市は、部分的なものはあるにせよ、水害による甚大な被害は受けにくいと考えられます。

ところで、図を見てください。右がお隣の葛飾区、左がそのお隣の墨田区のアザードマップです。これをみると、例えば江戸川が決壊し氾濫すると、葛飾区の多くの区域が水害に襲われることが想定されます。そのため、西側へ、つまり墨田区方面に避難するよう示しています。

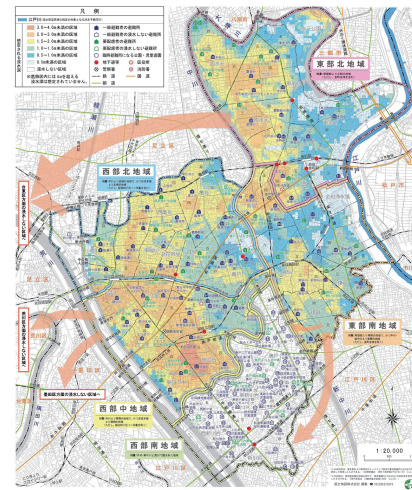
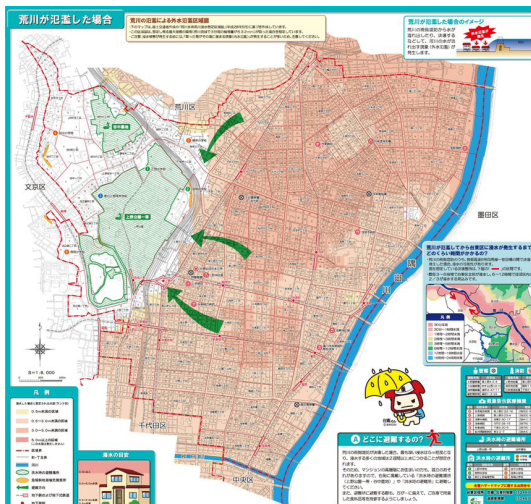
そして、その墨田区のアザードマップを見ても、そこでは、

荒川や隅田川沿いで水害が発生すると、ここでも東へと避難するよう示しています。ということは、葛飾区の方々は、墨田区に避難しても、そこすら水害に襲われている可能性が高く、安全確保につながらない恐れがあります。

では、どうするべきでしょう。少なくとも葛飾区の江戸川に近い方々は、松戸市に避難することが最も安全なルートだといえます。

しかし、そのためには江戸川を渡らなければなりません。そのために、ゴムボートなどを準備しておくことも、今後の水害対策には大切な要素だと考えられるのです。

そのように、広域的な防災を整えるには、松戸市も他市区町村からの避難の受け入れも視野に、さらに強化した防災計画を練っていく必要があるでしょう。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部